

公社麻赤歯発第 8-90 号

令和 8 年 8 月 27 日

会 員 各 位

(公社) 東京都港区麻布赤坂歯科医師会

会 長 大坪 邦彦



(公社) 東京都港区麻布赤坂・芝歯科医師会合同 令和 8 年度 第 1 回 港区障害者歯科研修会のお知らせ

日頃より本会会務に対し、ご理解ご協力を賜り深く感謝いたします。

今年度第 1 回港区障害者歯科研修会は、東京歯科大学大学 口腔健康科学講座 教授 福田謙一先生をお招きし、「スペシャルニーズ患者への対応ー痛みを訴える患者への対応を中心としてー」についてご講演頂きます。

スペシャルニーズ患者の中には、長きに渡って痛みを訴える慢性疼痛患者が存在します。「この痛みは、本当に歯が原因なのか？患者様の気のせいなのでは？」その様なご経験をされたことのある先生も多いのではないのでしょうか。口腔顔面領域の痛みは、歯原性の痛みだけではなく、筋肉や脈管の関連痛、神経障害に起因した神経痛、慢性化に深く関わる痛覚が変調した痛みが存在し、原因の重複や、心理社会的背景がある患者さんや著しいブラキシズムを有している患者さんなどでは、さらに診断も治療も複雑かつ困難になります。これらの特殊な痛みすなわち口腔顔面痛の背景、鑑別診断の進め方、治療と対応について、明日からの臨床にお役立て頂けるようご講演頂きます。

日時：令和 8 年 11 月 17 日（火） 19:00～20:30

場所：東京ミッドタウン カンファレンス Room 5

タイトル： スペシャルニーズ患者への対応

ー痛みを訴える患者への対応を中心としてー

講師：東京歯科大学 口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室

教授 福田謙一 先生

会費：港区麻布赤坂歯科医師会・芝歯科医師会会員 無料

会員スタッフ 1,000 円

他地区会員又は非会員 2,000 円

講師ご紹介

東京歯科大学口腔健康科学講座 障害者歯科・口腔顔面痛研究室
教授 福田謙一先生



<プロフィール>

1990 年 東京歯科大学卒業
1990 年 同大学歯科麻酔学講座助手
1994 年 東京大学医学部麻酔科医員（～1995 年）
1997 年 アメリカ合衆国 UCLA Harbor Medical Center 麻酔科客員研究員（～1998 年）
2004 年 東京歯科大学水道橋病院歯科麻酔科/口腔顔面痛みセンター科長
2006 年 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座歯科麻酔学分野助教授
2007 年 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座歯科麻酔学分野准教授
2015 年 東京歯科大学口腔健康科学講座／障害者歯科・口腔顔面痛研究室教授

歯学博士

口腔顔面痛学会指導医

日本障害者歯科学会指導医

日本歯科麻酔学会専門医

<抄録>

配慮を必要とする患者さん、すなわちスペシャルニーズ患者さんの中には、長きに渡って痛みを訴える慢性疼痛患者さんがいます。痛みは、ヒトが生きていく上で不可欠な生理機能ですが、時に痛みは Q O L を著しく脅かします。歯科に痛みを主訴として訪れる患者さんのほとんどの痛みが歯髄炎、歯周炎、外傷などの器質的疾患が起因しており、部位さえ特定できれば、治療することで、比較的容易に徐痛することができます。しかしながら、歯痛や口腔顔面痛の訴えの中には、視覚的にも X 線的にも痛みの原因を特定できず、診断に苦慮するというような定型的ではない痛みに遭遇することがあると思います。これらの患者さんは、鑑別診断のゴミ箱に入れられ、ドクターショッピングという状況に陥ります。このように、歯などの末梢局所そのものには明確な原因が見られない非定型な痛みには、口腔顔面周囲の筋肉や脈管の関連痛、神経障害に起因した神経痛、慢性化に深く関わる痛覚が変調した痛み、視覚的に認識しにくい慢性炎症や歯根膜炎など、多種多様な特殊な痛みがあります。原因の重複や、心理社会的背景がある患者さんや著しいブラキシズムを有している患者さんなどでは、さらに診断も治療も複雑かつ困難になります。

ここでは、これらの特殊な痛みすなわち口腔顔面痛の背景、鑑別診断の進め方、治療と対応について、概説します。

著書

「フローチャートでわかる歯科医院における 50 の痛み」(著書)医歯薬出版

「口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック」(分担執筆) 医歯薬出版 他